



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会

枕崎市中央町184番地

TEL 0993-72-0170

FAX 0993-72-0677

巻頭言

出会い

枕崎市教育委員会教育長 木之下 浩一

4月も末になると、あっという間に夏が春を追い越し、暑さを感じる日が続く。今年も春が短く、早くも夏が訪れたかのような陽気に包まれている。

春は多くの人新しい環境での第一歩を踏み出す季節である。職場や学校で、新たな仕事や同僚、仲間との様々な出会いが待っている。例えば、学校では人事異動や学級編制、それに伴う担任配置などで子供たちと先生方との新たな出会いがある。また、保護者や地域の方々との出会いは自分を成長させ、そこで培われた絆が財産となり、その学校を離れても一生の付き合いに発展することもある。昨年度までとは異なる学年や学級の子供たちを1年間担任するために、発達段階に応じた教材研究や学級経営、生徒指導をシミュレートしながら学級・学年・教科等の経営案を描く。慌ただしいながらもワクワクした心地よい気持ちでスタートした春の思い出が私にはある。しかし、教職は人と関わる典型的な仕事であり、子供たちや保護者、同僚をはじめ、祖父母や親戚等々から厳しい対応を迫られることもある。校務分掌(仕事)も年を重ねる度にレベルが上がり、責任の重みが増していく。それが自分に都合よく思い描いていたものとは違い、時として苦手な校務分掌や気の合わない人との出会いになる場合もあり、悩むこともあった。そんな折、先輩から「人は出会うべきときに、出会うべき人や仕事、物事に会うといわれる。人も仕事も、みな何らかの意味があって出会っている」ということを教わった。

自分には不向きと思っていた仕事が、いざ、やってみると興味深く、それまで気付かなかった自分の適性を発見できたこともあった。苦手だと思っていた人と仕事をするうちに、その人から様々な気付きや刺激が得られ、自分の生き方、考え方を見直すヒントになったこともあった。出会いは自分の可能性を広げ、成長していくチャンスとなる。その貴重なチャンスを生かすには何事にも躊躇せず、今、置かれた環境で思い切って行動することが大切である。その姿勢が、また新たな出会いを呼び、仕事の幅も人脈も更に広がり、人間的な成長が促され毎日がより充実したものになる。

学校では、新年度が始まり早、ひと月経とうとしている。今年度の児童生徒数は、小学校児童 731 人、中学校生徒 436 人で、合計は 1,167 人である。うち、小学校入学者は 81 人、中学校入学者は 162 人であった。また、先生方の転入・新規採用は、小中学校合わせて 45 人(うち、新規採用教諭が7人)で本市の令和7年度がスタートした。教育委員会としても、良質な教育環境を提供するために子供たちが「喜んで登校、満足して下校」できる学校づくりの支援や家庭教育、社会教育の充実に積極的に向けて努めていきたい。

5月の行事予定		
日	曜	行 事
1	木	フレッシュ研修, 市養護教諭研修会 かつお釣り体験アドベンチャー実行委員会①
2	金	
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	図書館休館日, 桜山中宿泊学習(～8) 定例教育委員会
8	木	市子連総会
9	金	
10	土	土曜授業・市教職員バレーボール大会
11	日	
12	月	図書館休館日, 立神中修学旅行(～14)
13	火	桜山小修学旅行(～14), 地区館連絡会 外部評価委員会
14	水	学校図書館司書研修会 枕崎校区地域学校協働活動推進委員会
15	木	
16	金	市民あいさつ運動 市公連総会, 市公連理事会
17	土	青少年育成の日
18	日	市民会館休館日, 家庭の日, 少年の船事業
19	月	図書館休館日, 学校訪問(立神中) 枕崎中宿泊学習, 別府中宿泊学習(～20) 別府中修学旅行(～21) 奨学生推薦委員会
20	火	第1回読み聞かせボランティアグループ連絡会 枕崎中修学旅行(～20)
21	水	別府小修学旅行(～22) 市民あいさつ運動標語審査会
22	木	図書館館内整理日 市地域部活動推進協議会 桜山校区地域学校協働活動推進委員会 市P連評議員会
23	金	別府校区高齢者学級開講式
24	土	
25	日	
26	月	図書館休館日, 学校訪問(桜山中)
27	火	市校長研修会, 枕崎校区高齢者学級開講式 別府校区地域学校協働活動推進委員会 市学校保健会理事会・評議員会
28	水	立神校区地域学校協働活動推進委員会 特別支援学級合同学習会
29	木	弁論大会運営委員会 第1回 市教科部会
30	金	第1回 市教科部会 枕崎市コミュニティースクール研修会
31	土	

令和7年度転入教職員宣誓式を開催

4月8日(火)今年度、本市に転入してきた36人の教職員の宣誓式を開催しました。転入者を代表し、立神中学校に新規採用職員として赴任した中村俊也教諭にサービスの宣誓を、別府小学校長として赴任した宇治野裕樹校長に代表あいさつをしていただきました。



36人の先生方に枕崎に愛着をもっていただくと共に、新風を巻き起こしてもらい、より一層、本市の子供たちがそれぞれの目標を達成することができるよう導いていただきたいと考えております。



かつおのぼりの掲揚【4月17日(木)】

本市の風物詩となっている「かつおのぼり」。今年も枕崎小学校1年生の「屋根よ～りた～か～いかつお～のぼり～♪」という元気な歌声とともに、市役所玄関前にかつおのぼりが掲揚されました。天気にも恵まれ、掲揚されたかつおのぼりは大空のもと元気よく泳いでいました。子供たちの成長を祈り、子供たちの思いを天高く届けてくれることを望みます。



We hope their future dreams come true.

転入職員紹介 ～よろしくお願いします!～

この度の県教職員人事異動等により、教育委員会に3人の学校関係職員が転入しました。



山 宗功 学校教育課 学校教育課長(奄美市立朝日中学校より)

奄美市の朝日中学校から参りました 山 宗功(やま むねのり)です。南薩・枕崎の勤務は初めてですが、枕崎の町並みを目にしたとき、心が熱くなる感覚を覚えました。枕崎市の子供たちや教職員のため全力を尽くします。よろしくお願いします。



泊 憲一郎 学校教育課 主幹兼保健体育係長(鹿児島市立紫原中学校より)

鹿児島市立紫原中学校から参りました泊 憲一郎と申します。枕崎市の児童生徒の健康安全の充実、体力の向上に微力ながら協力できるように頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



山田 浩隆 生涯学習課 主幹兼生涯学習係長(伊佐市立羽月小学校より)

今年度から枕崎市教育委員会生涯学習課にお世話になることになりました山田と申します。これまでの学校現場から教育委員会で仕事をするのは初めてですので、わからないことばかりですが、本市の生涯学習・社会教育の充実・発展に貢献できるように努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

新たな通級指導教室(LD, ADHD 通級指導教室)が開設されます。

通級指導教室とは、通常の学級(1年1組など)に所属していて、学習面や生活面において困っている児童が、月に1回から週に1回程度通い、自分の課題を担当の先生と一緒に解決する教室になります。現在は、枕崎小学校に「ことばの教室」があります。今年度、同じく枕崎小学校に「LD, ADHD 通級指導教室」を開設する予定です。

今年度開設する「LD, ADHD 通級指導教室」では、「LD」と「ADHD」の児童を対象として通級による指導を提供します。LDとは、「学習障害」のことで、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定の技能がとてもし手な障害です。知的な障害があるようには見えないのに、一部の教科がとてもし手な場合は、通級指導の対象となる可能性があります。「ADHD」とは、「注意欠陥多動性障害」のことです。年齢相応の落ち着きの無さや、注意力の欠如があり生活に支障をきたす場合は、通級指導教室を利用して、家庭や学校での過ごし方を担当教員と一緒に考えてみるというかもしれません。

通級指導教室の利用に際して、医師の診断等は必要ありませんが、入級の妥当性については学校や教育委員会が判断します。もしもお子さんに通級指導教室を利用させたい場合は、まず学校に御相談ください。